

次世代の活力ある上質な暮らしのために

JKK 住環境研究所
EnviroLife Research Institute, Inc.

ミニニュースレター

お問い合わせ先:担当 遠藤

TEL.03-3256-7571

受付時間 平日(月~金)

午前10時~12時、午後1時~5時

休業日 土日祝日、夏季および年末年始休み

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-1
(神田須田町スクエアビル8F)

2015.8 Vol.6

〈特集〉
SPECIAL NUMBER

大人の親子世帯の住まいづくり、 子の性別で関心・困りごとが異なる

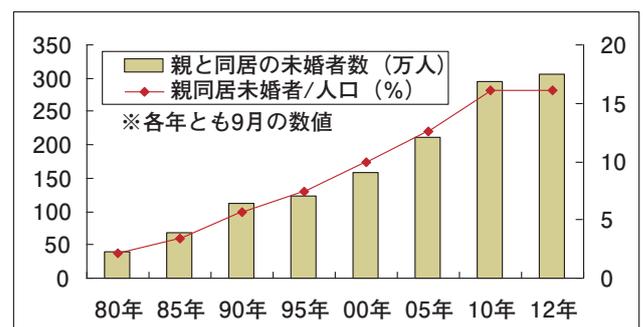
息子は結婚願望を捨てきれず「家族構成の変化への対応」、
娘は親の面倒を決意も「大人親子のモデルプランが少ない」

住環境研究所ではこのほど「大人の親子世帯」の家づくり実態調査を実施しました。本調査は、30代~40代の子供(未婚)と親が同居するスタイルを「大人の親子世帯」としてとらえ、その住まいづくり・居住に関する意識に迫ったものです。全国(沖縄を除く)で、2009年から2014年の間に戸建て住宅を購入・建築した555人を対象にアンケート調査、さらに首都圏などにお住まいの方々18組にインタビュー調査を実施しました。調査によると、同居する子の性別により、採用・不採用の仕様、検討過程の「困りごと」などが異なることがわかりました。具体的には、関心が高い間取り・仕様については、娘のいる世帯では「ペット配慮」「家族それぞれの生活時間配慮」「介護・介助を想定した間取り・仕様」の割合が高くなった一方、息子のいる世帯では「売却・賃貸しやすい間取り・仕様」が多くなっていました。検討過程で困ったことについて聞いたところ、「我が家と似た家族構成・ライフスタイルの事例が少ないこと」(娘17%、息子5%)、「親や子どもの身の振り方など、将来の家族構成を想定すること」(息子12%、娘6%)で差が大きく現れました。娘と息子では結婚意向に差がみられ、娘は結婚をせず親の介護など面倒を見るつもりであるものの、「親+壮年期の娘が暮らすための住まいの事例が少ない」ことに

困っている、息子の場合は結婚の可能性を否定できず、「家族構成の変化への対応」をどうするかに困っている様子が見えます。快適な住環境を提供するためには、それぞれに適した多様なモデルプランの提示が求められていることがこの調査から判明しました。

我が国では少子高齢化の一方、晩婚化も進むなど国民のライフスタイルが多様化しています。総務省統計研修所の集計によると親と同居する未婚者(35~44歳)の数は2012年に300万人に達しています。戸建て市場においては、「大人の親子世帯」は現状で約1割(図表略/弊社調査)と大きなボリュームではありませんが、彼らに対して適切な提案を行うことが住宅市場の活性化、さらには豊かな国民生活の形成に役立つと考えられます。

■親と同居の壮年(35-44才)未婚者



*労働力調査(総務省統計研修所による特別集計)

1 「大人の親子世帯」は住まいづくりで困っている

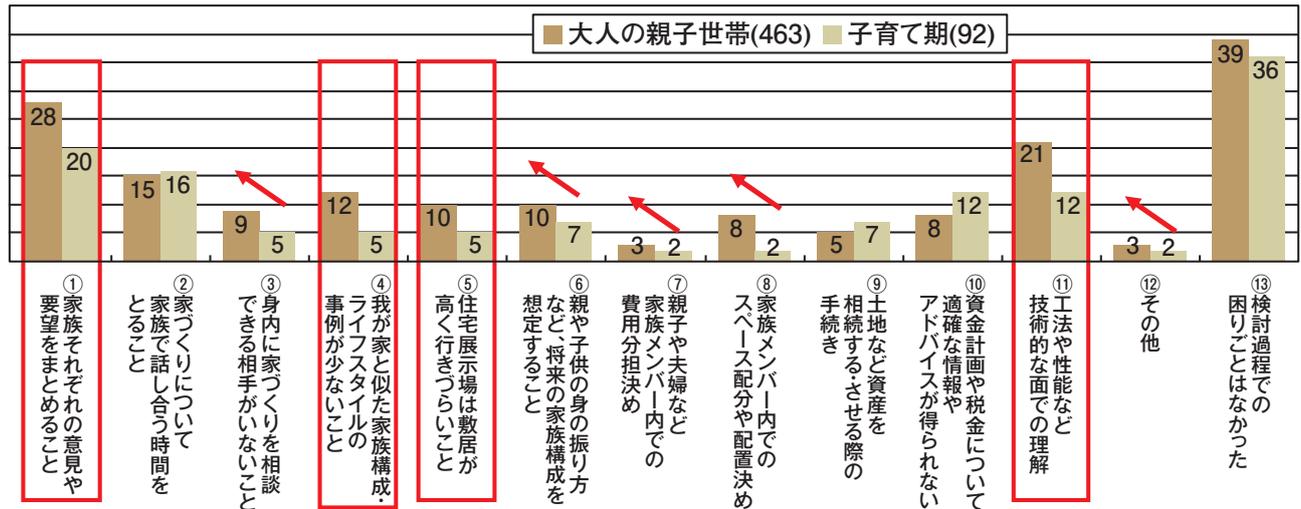
「大人の親子世帯」全体と「子育て期家族」との、住まいづくりの検討における困りごとを比較してみました。この結果、「家族間の意見調整」（「大人の親子世帯」で28%、子育て期家族20%）、「技術的な理解」（同21%、同12%）、「事例が少ない」（同12%、同5%）、「展示場に行きづらい」（同10%、同5%）などで違いが大きくなっていました。

■アンケートの調査対象

09年-14年に戸建て住宅を購入・建築し、その際に**検討の主体**となった方が回答

| | N | 定義 |
|---------------|-----|--------------------------|
| 大人の親子世帯 | 463 | 「30-49才の未婚の子供」と「親」から成る世帯 |
| 検討の主体 | 親 | 267 |
| | 子 | 196 |
| 子育て期家族 <比較対象> | 92 | 「30-49才の親」と「子供」から成る世帯 |

■検討の過程で困った事 (%)



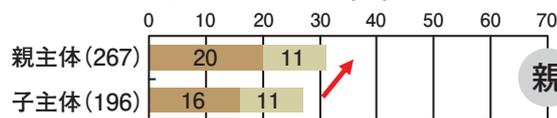
◇インタビュー調査での関連発言抜粋

| | |
|---------|--|
| ①意見調整 | 二世帯、賃貸併用、太陽光など将来に備えて 自分は色々検討したかったが、親が面倒がるので口出しを止めた。 ／42才息子+両親 |
| ④事例⑤展示場 | 初めは大手中心にHPを見たが 子育て期家族向けなので自分たちとは違う と思い深くは見てない。 (設計事務所と契約)／49才娘+母 |
| ⑪技術面 | 技術的なことは母にはわからないし住まない姉家族に相談するのも違うので、営業マンを信じるしかなかった。 ／43才娘+母 |

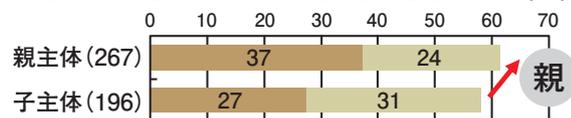
2 子は「将来の安心(「売買・賃貸」)」を重視

「大人の親子世帯」が、住まいづくりに関心をもったことを「このような住宅・仕様にした」「検討したが諦めた」で捉えて親と子で比較してみました。「将来、売却・賃貸しやすい間取り・仕様」（子主体=33%、親主体=23%）、「自宅の一部を賃貸できるよう配慮」（子主体=18%、親主体=9%）で大きな差が出ていました。親は「介護」や「ペット」「趣味」などでポイントが高くなっています。

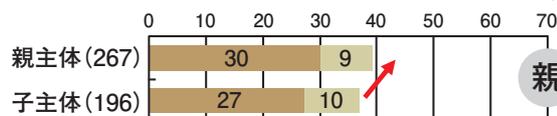
■①ペット配慮の間取り・仕様(%)



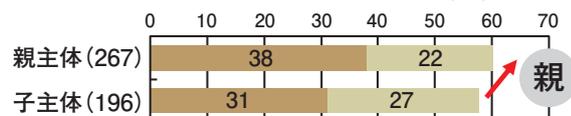
■②趣味を行うスペースや収納の十分な確保(%)



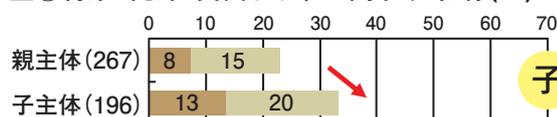
■③家族それぞれの生活時間(朝型・夜型など)配慮(%)



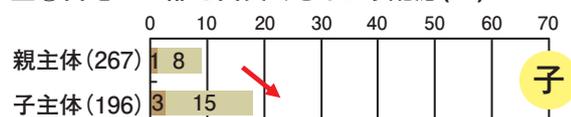
■④介護・介助を想定した間取り・仕様(%)



■⑤将来、売却・賃貸しやすい間取り・仕様(%)



■⑥自宅の一部を賃貸できるよう配慮(%)



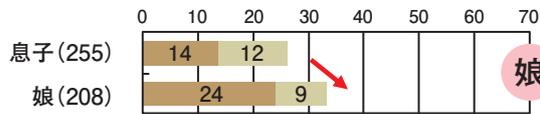
■ このように住宅・仕様にした ■ 検討したが諦めた

3 子の性別によって関心のある項目に違い

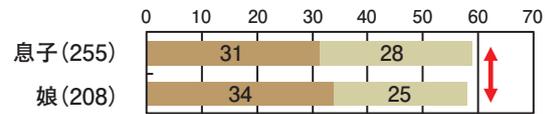
「大人の親子世帯」の子の性別により住まいづくりで関心をもったことに相違点が表れました。娘のいる世帯では「ペット配慮の間取り・仕様」「家族それぞれの生活時間への配慮」「介護・介助を想定した間取り・仕様」が息子を上回り、逆に息子については「将来、売却しやすい間取り・仕様」「自宅の一部を賃貸できるよう配慮」に対する関心が比較的高くなっていました。

〈子供の性別〉 息子：「息子のいる親の回答」＋「息子本人の回答」、娘：「娘のいる親の回答」＋「娘本人の回答」

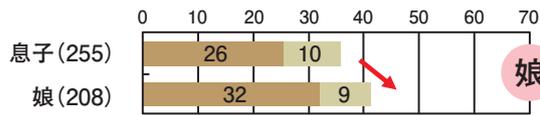
■①ペット配慮の間取り・仕様(%)



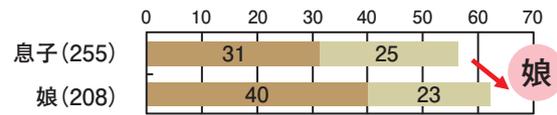
■②趣味を行うスペースや収納の十分な確保(%)



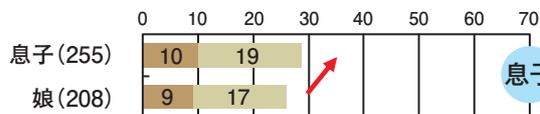
■③家族それぞれの生活時間(朝型・夜型など)配慮(%)



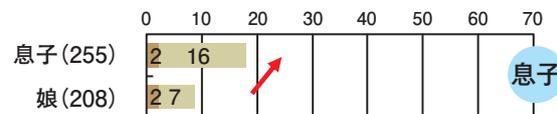
■④介護・介助を想定した間取り・仕様(%)



■⑤将来、売却・賃貸しやすい間取り・仕様(%)



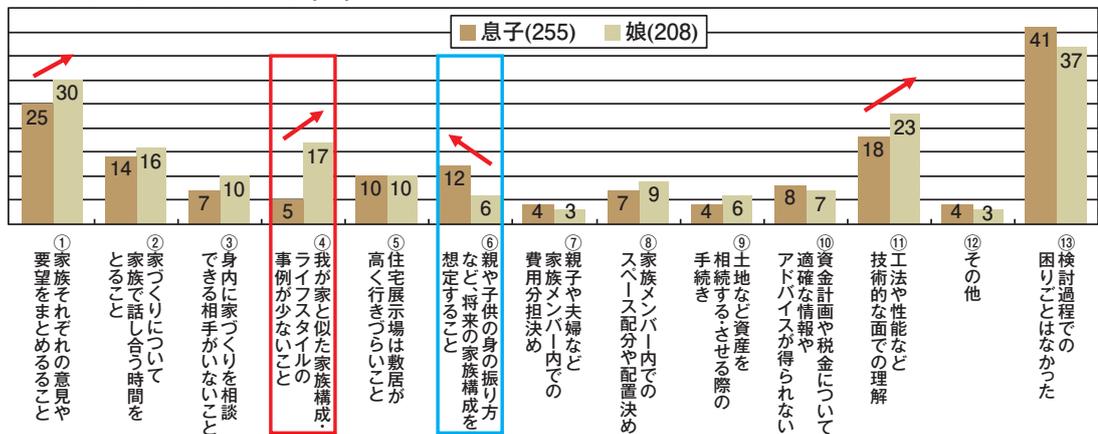
■⑥自宅の一部を賃貸できるよう配慮(%)



4 困りごとは、娘世帯で「事例が少ない」、息子世帯で「将来の家族想定」

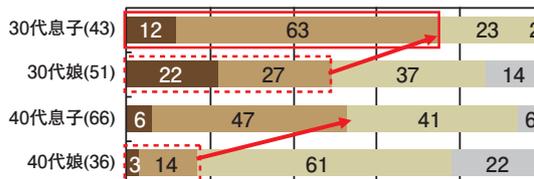
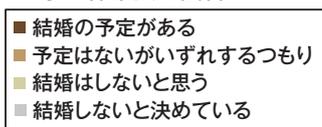
「大人の親子世帯」の子の性別で、住まいづくりの検討における困りごとを抽出してみました。「我が家に似た家族構成・ライフスタイルの事例が少ないこと」(娘=17%、息子=5%)、「親や子の身の振り方など、将来の家族構成を想定すること」(息子=12%、娘=6%)に大きな相違点が現れました。結婚意向では、同じ年代でも息子(男性)では高く、女性では低い傾向にあることから、この相違点には結婚への意向(願望)が関係していることが伺えます。

■ 検討の過程で困った事(%)



◇ 結婚意向(%)

*子主体本人の回答



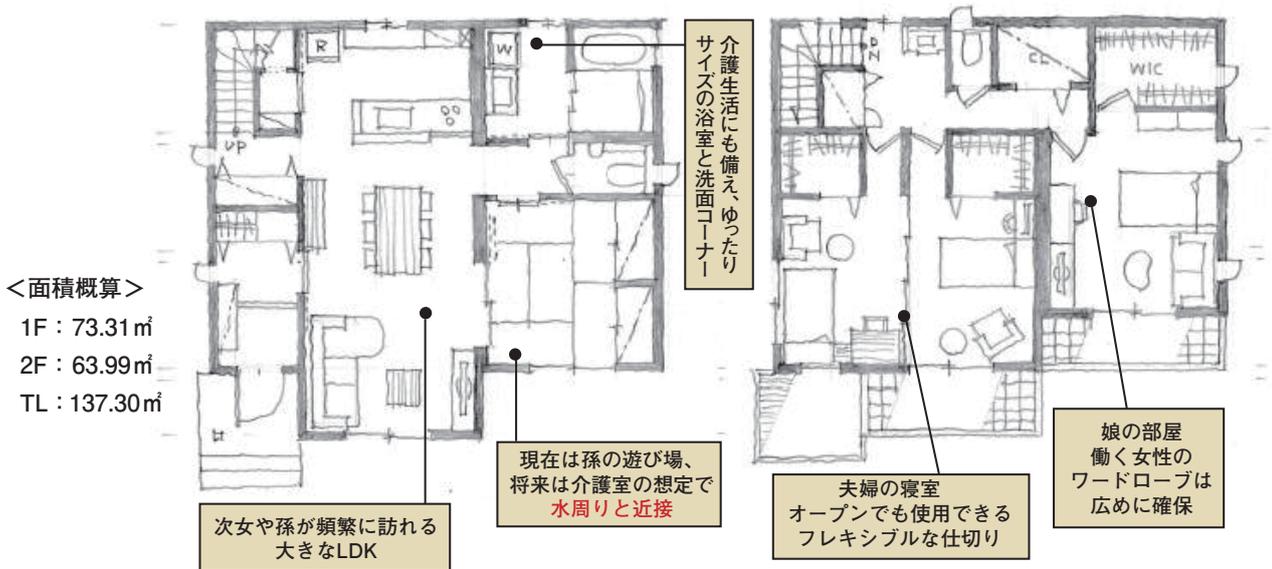
《研究員のコメント》

「大人の親子世帯」(親と同居の壮年未婚子)は失業率や非正規雇用率などマイナス面が論じられることが多く、戸建て住宅市場においても「大人の親子世帯」は未だ少数だ。しかし、本調査の結果から供給側の働きかけや対応によっては建替えやリフォームなどの住行動につながる大人の親子世帯は少なくないと考えられる。その際、キーワードとなるのは『将来の安心(親の介護、住まいの売買・賃貸など資産活用)』『生活のハリと和み(趣味やペット、離れて暮らす孫の来訪など)』である。(担当:遠藤)

<参考:「大人の親子世帯」の性別モデルプラン>

モデルプラン例①しっかり娘が親の介護を見据えた住まい

| | | | |
|--------|---|---|---|
| プロフィール | 70代夫婦+40代娘(主体) 家中心の生活を送る 高齢親の健康・安全、将来の介護 を考えて生家を建替え | 親 | 夫の定年後しばらくは夫婦で旅行や外出をしたが、ここ数年は家で過ごすことが多くなった 近所に住む 次女や孫が遊びに来ることが最大の楽しみ 。 |
| プラン | 1階の和室は将来の介護に備えて サニタリーにも近接 。 現在はLDK+和室で 近所に住む次女家族との交流の場 。 親寝室はイビキや温度好みの関係で引き戸を設けた。 | 子 | 40代娘(長女)、地元企業勤務 建替え費用の一部と生活費の大半を負担。結婚意向なし。 親の介護は次女の協力を得ながら担うつもり 。 |



モデルプラン例②息子の将来の選択肢を残した住まい

| | | | |
|--------|---|---|---|
| プロフィール | 70代夫婦+40代息子(主体) 自分の身を固めてから考えるつもりだったが、震災で住まいに傷みが生じ建替え | 親 | 夫:一度病気をしてから朝夕の散歩が日課、それ以外の時間は無理をせず、家でゆったりと過ごしている。 妻:夫と息子の面倒をしっかりみながら習い事に勤しむ。 |
| プラン | 1階は親世帯、2階は息子世帯用に設定。親夫婦はコンパクトながらワンフロアで便利な生活を実現。2階(又は1階)を人に貸すことも想定し 別玄関、改装しやすい間仕切り を設けた。 | 子 | 40代息子(長男)、地方公務員、建替え費用は全額負担 予定はないが いずれ結婚し、この家に住むつもり 。 もし 結婚しない場合は賃貸にして自分の老後の収入源に 。 |

